

2023年2月

【学術情報】

(株)サン・クロレラ 研究開発部

MTHFR C677T 多型遺伝子を持つ症例におけるクロレラの葉酸への影響について
Personalized Medicine Universe に掲載されました。

クロレラの食事性葉酸の生体への影響をMTHFR遺伝子多型症例に対して検討し、葉酸の利用効率が悪いTT型に有効であることを第21回日本統合医療学会において発表しましたが、その成果が論文になりましたのでご報告いたします。

[こちら](#)から無料でダウンロード

《詳細》

雑誌 : Personalized Medicine Universe. 2023; 12: 33-37

タイトル: Folate metabolism of *Chlorella pyrenoidosa* on subjects of MTHFR C667T polymorphism

著者 : Yoko Uchiyama-Tanaka¹⁾, Eri Okumura²⁾, Masaki Fujishima²⁾

所属 : 1) Yoko Clinic, 2) Sun Chlorella Corp

この情報は、学術雑誌や学会において発表された内容の掲載であり、商品の販売促進を目的とするものではありません。